

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



建交労



2025年11月9日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年秋季年末闘争No.10

2024年度推進ニュース④通算391

発行責任者 小島 茂

『資本論』をベースに現代の貧困問題を捉える いま、資本論を！学習教育運動セミナー開催

労働者教育協会は、11月8日（土）13:30～17:00に学習教育運動セミナーを全労連会館内で開催しました。参加者は全労連会館の会場と北海道～沖縄までのZoom参加者を併せて約60名でした。神奈川県南支部からは赤羽がZoomで参加しました。

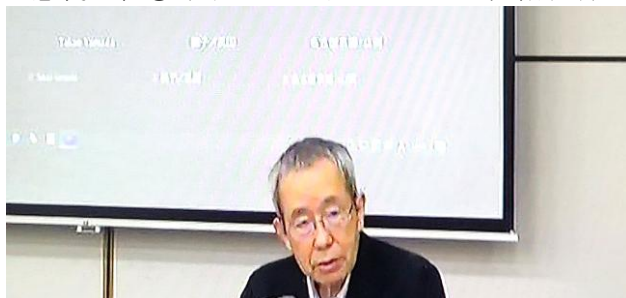
主催者である労働者教育協会の五十嵐仁会長（法政



挨拶する労教協の五十嵐仁会長（勤通大学長）

大学大原社会問題研究所の名誉教授）は、冒頭の挨拶で11月4日のニューヨーク市長選挙は民主党進歩派のゾーラン・マムダニ（34歳）州下院議員（民主的社会主義者）が、大富豪からの巨額の献金とトラック大統領の全面支持を受けたアンドルー・クオモ前ニューヨーク州知事（67歳）を破って当選したことに触れて「いま、世界では、資本主義の本質を解明したマルクスの著書『資本論』に学び、若者も参加して格差と貧困社会を変革する運動が広がっている」と指摘し、労働者・国民に『資本論』の存在を知らせ学ぶことの大切さを強調しました。

そのあと、伍賀一道金沢大学名誉教授が『『資本論』をベースに現代の貧困問題をとらえる』と題し約1時間半86ページに及ぶレジュメ・資料にもとづいて講演しました。伍賀氏は「日本の貧困の象徴として大儲けをするスキマバイト業者（業者への登録者2023年5月1000万人～2025年5月約3400万人に増加）を取り上げ、その背景にある格差拡大・貧困社会と、マルクスが『資本論』で解明した「失業・半失業」「長時間・過密労働」問題などを現状に重ねて解説しました。また、『資本論』を学ぶ意義は、①搾取のしくみを知る——労働組合運動を抑えようとする資本家のゴマカシを打ち破る。



講師の伍賀一道（ごか かずみち）金沢大学名誉教授

②労働者階級内部の分断を乗り越える。③搾取の程度を縮小すると指摘しました。講演の“まとめ”では、マルクスが1864年11月の国際労働者協会創立宣言で触れた「数は、団結によって結合され、知識によって導かれる場合にだけ重きをなす」の言葉で締めくくりました。その後セミナーは関西勤労協・福祉保育労組・千葉県学習協・神奈川県学習協の『資本論学習』の実践報告から全体討論へとつづき事務局のまとめで閉会しました。

働くものの労働安全衛生学校を開催—ハラスメント対策と予防—

11月8日は、昨年同様に学習教育運動セミナーとほぼ同じ時間帯で、いの健神奈川・神奈川労連・神奈川民医連が主催する毎年恒例の“働くものの労働安全衛生学校”が建設プラザかながわ&Zoom（講演のみ）で開催され、東京法律事務所の 笹山尚人弁護士から“若者の働く実態と職場におけるハラスメント対策と予防—労働安全衛生の視点から—”と題する講演が行われました。神奈川県南支部からは金崎書記長がZoom参加しました。



笹山尚人弁護士